

# うるま市議会 だより

第38号

平成26年(2014)  
発行12月 1日



わたしたちは小さな消防団(うるま市ふれあい消防フェスタにて)

## 一般質問(9月定例会)

9月定例会には26名の議員が市政全般について一般質問を行いました。本紙面は、「市議会だより」申し合わせ事項により掲載されています。

誌面の都合上、簡潔な表現になっております。

なお、詳しい内容については市議会会議録を自治公民館、市内図書館、議会事務局、議会ホームページでご覧ください。

## 目次

議長・副議長就任あいさつ	2
市議会会派名簿	2
市議会構成図	3
一般質問	4
第88回 9月定例会議決結果	17
第89回10月臨時会議決結果	19
議員集合写真(庁舎前の撮影)	20

■発行:うるま市議会 ■編集:議会広報編集調査特別委員会

住所 〒 904-2292 うるま市みどり町1-1-1 電話 098-973-3511 FAX 098-973-8123

### 就任のご挨拶



うるま市議会  
議長 大屋 政善



うるま市議会  
副議長 徳田 政信

去る十月五日に、うるま市誕生後三回目の市議会議員選挙が執行され、十月二十日の初議会において議員各位のご推挙を得て、第五代議長、第六代副議長に就任し、改めてその責任の重大さを痛感しているところであります。

国が地方創世や地域再生を推し進める中、市議会といたしましても更なる行財政改革により財政の健全化を図り、本市の均衡ある発展と市民福祉の向上に努めなければなりません。

私どもは、市民の意見を市政に反映させるべく、公正・公平な議会運営に努めるとともに、行政当局と建設的で真摯な議論を展開し、魅力ある、安全で安心して暮らせるまちづくりの推進に、誠心誠意努めて参る所存であります。

今後とも市民皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### うるま市議会会派名簿

平成26年10月20日現在

新政クラブ(8人)	いぶきの会(7人)	かけはし(7人)	公明(2人)
① きゃん 武 力 おお や 政 善 おく だ 修 きゃん 武 正 伸 こう ち 政 和 さく だ 悟 しも じょう 勝 にし の 野 一 男	① ひがし はま みつ お 東 浜 光 雄 おお び せい じん 萩 堂 盛 仁 きん じょう かつ まさ 金 城 勝 正 たか え す けん じ 高 江 洲 賢 治 なか ほど たかし 仲 程 孝 また よし のり ひさ 又 吉 法 尚 みや ざと ちよう せい 宮 里 朝 盛	① とく だ まさ のぶ 徳 田 政 信 い は よし あき 伊 波 良 明 おお しろ なおし 大 城 直 たい ら えい じゅん 平 良 榮 順 たま え 榮 と 登 次 玉 榮 正 人 なか むら まさ 正 久 中 村 正 久 まつ だ ひさ 久 松 田 久 男	① なか もと たつ お 仲 本 辰 雄 ひ が あつ こ 比 嘉 敦 子
		希 望(4人) ① な か ま ぎ とく 名 嘉 眞 宜 徳 い は ひろし 伊 波 洋 なが た ま え やすし 永 玉 榮 靖 みや ぎ かず とし 宮 城 一 寿	日本共産党(2人) ① い もり さち こ 伊 盛 サ 子 きん じょう か な え 金 城 加 奈 栄

※条例定数30名、○は会派長(会派長以外は五十音順)

# うるま市議会組織構成図

平成26年10月20日

議長 大屋 政善

副議長 徳田 政信

任期 自 平成26年10月20日  
至 平成30年10月19日

議会運営委員会 (12人)	常任委員会			
	企画総務(8人)	建設(7人)	教育福祉(7人)	市民経済(7人)
◎ 卞 門 勝	◎ 松 田 久 男	◎ 金 城 勝 正	◎ 佐久田 悟	◎ 平 良 榮 順
○ 比 嘉 敦 子	○ 大 城 直	○ 下 門 勝	○ 伊 波 良 明	○ 幸 地 政 和
伊 波 洋	伊 盛 サチ子	金 城 加奈栄	伊 波 洋	○ 奥 田 修
伊 盛 サチ子	喜屋武 正 伸	高江洲 賢 治	喜屋武 力	荻 堂 盛 仁
金 城 勝 正	永玉栄 靖	玉 榮 登 次	中 村 正 人	比 嘉 敦 子
佐久田 悟	仲 程 孝	徳 田 政 信	中 村 正 人	比 嘉 敦 子
平 良 榮 順	仲 本 辰 雄	名嘉眞 宜 徳	東 浜 光 雄	宮 城 一 寿
徳 田 政 信	西 野 一 男		又 吉 法 尚	宮 里 朝 盛
西 野 一 男				
東 浜 光 雄				
松 田 久 男				
宮 里 朝 盛				

## 特別委員会

基地対策(10人)	議会広報調査(10人)	議会史編さん(8人)
◎ 喜屋武 力	◎ 比 嘉 敦 子	◎ 宮 城 一 寿
○ 大 城 直	○ 玉 榮 登 次	○ 伊 盛 サチ子
伊 波 洋	喜屋武 正 伸	○ 奥 田 修
伊 波 良 明	金 城 加奈栄	金 城 勝 正
伊 盛 サチ子	幸 地 政 和	佐久田 悟
佐久田 悟	下 門 勝	永玉栄 靖
仲 程 孝	平 良 榮 順	比 嘉 敦 子
仲 本 辰 雄	東 浜 光 雄	松 田 久 男
西 野 一 男	宮 城 一 寿	
又 吉 法 尚	宮 里 朝 盛	

議員数	議員の年齢
条例定数 30人	最高齢 71歳
現員数 30人	最年少 36歳
	平均 58歳
政 党	議員数
公明 2人	新政クラブ 8人
日本共産党 2人	いぶきの会 7人
社会民主党 1人	かけはし 7人
維新の会 1人	希望 4人
無所属 24人	公明 2人
	日本共産党 2人

◎委員長 ○副委員長(委員は五十音順)

中部北環境施設組合 議会議員(5人)	中部衛生施設組合 議会議員(4人)	沖縄県後期高齢者医療 広域連合議会議員(1人)	監査委員(1人)	都市計画審議会 委員(2人)
幸 地 政 和	下 門 勝	松 田 久 男	仲 本 辰 雄	金 城 勝 正
奥 田 修	高江洲 賢 治			平 良 榮 順
荻 堂 盛 仁	中 村 正 人			
平 良 榮 順	名嘉眞 宜 徳			
宮 城 一 寿				



一 つるま市総合計画について  
二 基地問題について

たなか なおとく  
田中直次

致及び雇用創出を図る。

一 つるま市総合計画について

**質問** 「児童学校教育」。沖縄県学力到達度調査について(平均点に近い教科も紹介があった。今後、数値を上げていく為の取り組みについて伺う。

**答弁** 嘉手苧指導部長 一時間の授業の狙いを明確にする。板書を工夫する等、実践9項目に沿って全ての教師がわかる授業が実施出来る様取り組んでいる。各学校へ学力向上学習支援員等を配置し、基礎的、基本的な知識技能の定着を図る為、授業中の学習支援や補習指導など、個別対応への取り組みを行っている。

**質問** (中城湾新港地区の雇用について)平成25年度が4千2百2人。目標が1万1千3百48人であるが、約7千人をあと2年で増やす見通しと課題について伺う。

**答弁** 上間経済部長 産業振興の指標となる企業立地と雇用に係る目標数値を達成するため、県並に隣接する金武町、沖繩市や産学の関係機関とも連携し、企業訪問や企業誘致セミナー、特区ツアール等の誘致活動をはじめ、様々な施策を展開し、積極的に企業誘

二 基地問題について

**質問** 辺野古の新基地建設について、沖縄タイムスへのアンケートの無回答について。琉球新報へのアンケートについて伺う。

**答弁** 島袋市長 都市計画関連の会合があり、他市への移動中であつた。その公務をこなすまでの間に物理的に精査、検討する十分な時間がなかったという事もあり、公務優先の立場から無回答とした。他社のアンケートについて、主権として強引、強権的な手法はナンセンス、国は法律を遵守のうえ、慎重に対応すべきという事で回答した。

**質問** 沖縄国際大学へのヘリ墜落事故から2013年までの事故件数、事故内容について伺う。

**答弁** 喜納企画部長 事件、事故の件数の総数は3百19件。内訳として、沖縄国際大学へのヘリ事故等の墜落が5件。不時着や緊急着陸が2百67件。パンクや部品落下などが47件になっている。  
※その他「人権問題について」質問しました。



一 第6期介護保険事業計画における認知症高齢者への支援  
二 及び地域包括ケアシステムの構築について  
三 新たな道の駅及び闘牛博物館を整備することについて  
四 市営住宅の整備・補修等の計画及び住宅施策等について  
五 つるま市公共施設等マネジメント計画における勝連B&G海洋センター廃止問題について  
勝連浜ふるさと海岸の砂被害について

なかもと たろう  
仲本辰雄

一 第6期介護保険事業計画における認知症高齢者への支援及び地域包括ケアシステムの構築について

**質問** 認知症高齢者への支援として4点組み入れられないか①認知症疾患医療センターなど、専門医療機関との連携②認知症カフェなどの認知症ケア向上推進事業③認知症サポーターの養成と反復研修④徘徊SOSネットワークなどの住民のネットワークづくり。

**答弁** 山城福祉部長 計画の中に組み入れた。  
二 新たな道の駅及び闘牛博物館を整備することについて

**質問** 石川地区の経済活性化に資するため、石川インター付近にレンタカーの集積所を整備し、中北部観光のスタート地として位置づけることが必要である。そこに、道の駅の役割を持つ商業施設と闘牛博物館を設置すれば、観光客や買い物客など多くの人が訪れることになる。にぎわいがあると、そこにビジネスチャンスが生まれ、経済の波及効果ははかり知れないものがあると考えらる。レンタカーの集積所、新たな道の駅及び闘牛博物館を整備することが考えられないか。

**答弁** 上間経済部長 道の駅、交通センター、闘牛情報センターの整備を掲げ、今後多目的ドームの機能強化とあわせて年次的に取り組んでいきたい。

三 市営住宅の整備・補修等の計画及び住宅施策等について

**質問** 東山団地の障がい者向けの住宅はバリアフリーになっているか見解を伺う。

**答弁** 久田建設部長 改修改善が必要だと考えている。

**質問** 早目にバリアフリーにできないか。  
**答弁** 久田建設部長 次年度改修工事を行う予定をしている。

四 つるま市公共施設等マネジメント計画における勝連B&G海洋センター廃止問題について

**質問** B&G海洋センターは、無償譲渡されているが、この契約にセンターの維持管理及び廃止は、どのように規定されているか。  
**答弁** 赤嶺教育部長 施設の維持保全に関する事等がある。

**質問** その意味をどう捉えているか。  
**答弁** 赤嶺教育部長 施設の機能や性能を保ち、安全かつ衛生的に保つことと考えている。

**質問** 答弁でセンターの廃止は、できないと確信した。老朽化しているのであれば、建替えを視野に入れるべきであると思いが見解を伺う。  
**答弁** 赤嶺教育部長 B&G財団や関係部局との調整を踏まえながら、今後検討していく。

五 勝連浜ふるさと海岸の砂被害について

**質問** 抜本的な対策は防砂壁を取り付けることが一番だと思っている。住民の生活の安定が得られる具体的な案を県に示すべき。

**答弁** 久田建設部長 飛砂の対策を講じる施設等の案を検討し、議員から提案のある防砂壁等を提案するなど県に要請をしていきたい。



一 具志川庭球場入口から字具志川向け周辺の街灯設置に関して  
二 一般財団法人建設業振興基金の融資制度に関する事項について

金城 勝正  
きんじょう かつまさ

一 具志川庭球場入口から字具志川向け周辺の街灯設置に関する事項について

**質問** 子どもたちの登下校の安全を確保する為にも、早急に街灯を設置する必要があると考えるが、今後の対応について伺う。

**答弁** 島袋市民部長 防犯灯の設置は、うるま市防犯灯設置補助事業によって実施されている。設置箇所については、自治会の意向などによって設置される。この件については、地域の自治会と連携して検討していきたい。

二 一般財団法人建設業振興基金の融資制度に関する事項について

**質問** 地域建設業経営強化制度は、事業協同組合等又は一定の民間事業者の転貸融資と当振興基金及び保証事業者社への債務保証と組み合わせる事により、中小、中堅元請建設業者への資金供給の円滑化を図ろうとする制度であるが、その概要について伺う。

**答弁** 島袋都市計画部長 建設業者は発注者から債権譲渡の承諾を得て、当該債権を事業協同組合等に譲渡する。事業協同組合等はその譲渡債権を担保として、出来高査定を行った上で、財団法人建設業振興基金の債務保証を受け、金融機関から資金を借り入れて、出来高の範囲内で建設業者に転貸融資を行う。出来高を超えた部分については、保証事業会社の債務保証を受け、金融機関が直接融資する。発注者においては、工事完成後に事業協同組合等に対して、工事代金を払う流れになっている。

得て、当該債権を事業協同組合等に譲渡する。事業協同組合等はその譲渡債権を担保として、出来高査定を行った上で、財団法人建設業振興基金の債務保証を受け、金融機関から資金を借り入れて、出来高の範囲内で建設業者に転貸融資を行う。出来高を超えた部分については、保証事業会社の債務保証を受け、金融機関が直接融資する。発注者においては、工事完成後に事業協同組合等に対して、工事代金を払う流れになっている。

**質問** この制度は業界からも要請・相談があった事から、当該建設業者のニーズは高くなるものと考えられる。当局においては関係機関と調整のうえ、この制度を取り入れて地域建設業者の経営強化に資する為にも前向きに対応して頂きたいが見解を伺う。

**答弁** 島袋都市計画部長 建設業者の経営強化を図る上から、県内の融資事業者等に当該制度の確認や調査を行い、庁内の関係部署と調整しながら、同制度の活用に向けて前向きに検討させて頂きたい。



一 事業所内保育施設への給付について  
二 土砂災害対策について  
三 石川屋内運動場とプール補修工事について

松田 久男  
まつだ ひさお

一 事業所内保育施設への給付について

**質問** 働き易い環境をつくり、失業対策にもなる、今後非常に期待の持てる事業である。うるま市の取り組みについて伺う。

**質問** ココガーデン付近崖地は指定されているか。安全対策も伺う。

**答弁** 山城福祉部長 市内に6施設あり、要件を満たす場合には運営に係る助成を行ないたい。

**答弁** 天願総務部長 土砂災害防止法に基づき、沖縄県が平成26年に土砂災害警戒区域として指定されている。防災担当部署では対応を検討中である。

**質問** 市が主体となって行うべき研修事業について、現在の取り組み状況を伺う。

**答弁** 久田建設部長 2、3年前の落石は市が片付けし注意看板を設置した。崩落発生や予兆がある場合県が調査し、急傾斜地危険個所の指定をし、対策工事を行う事となるが、用地は無償提供となる。

**質問** 県が積極的に進めるのに何か支障があるか。

**答弁** 久田建設部長 地権者が本土の会社であり調査している。

**質問** もう9月に入った。具体的なスケジュールを伺う。

**答弁** 久田建設部長 まだ一度も連絡は取れていない。

**答弁** 山城福祉部長 12月から1月にかけて県が基礎研修を行う予定。市としては基礎研修終了後に、単独開催よりも中部広域市町村に働きかけ、一堂に会しての研修事業が実施出来ないか、併せて検討している。

**質問** 事故の場合市の責任問題は無いのか、市の見解を伺う。

**質問** 民間団体、NPOも研修が行えるか。

**答弁** 久田建設部長 第一義的には地権者であると考えている。

**答弁** 山城福祉部長 民間委託等についても同じように検討している。

**質問** 石川屋内練習場の雨漏りとプールの網戸補修の予定を伺う。

二 土砂災害対策について

**答弁** 赤嶺教育部長 一括交付金を活用し、平成24年度に防水工事を実施したが、その後の度重なる台風の影響により、新たに発生している。修繕を検討したい。網戸補修は早めに対応する。

**質問** うるま市内の警戒区域内の災害区域外の災害発生件数について伺う。

**質問** 三 石川屋内運動場とプール補修工事について

**答弁** 天願総務部長 警戒区域内で2件、区域外で32件となっている。



- 一 米原緑地広場(仮称)の建設について
- 二 大原団地入口への信号機設置について
- 三 道路整備について
- 四 赤道地域(赤道・新赤道)への認可保育園整備について

なかほど  
仲程  
たかし  
孝

一 米原緑地広場(仮称)の建設について

**質問** 予定面積における坪数と地権者の数筆数を伺う。

**答弁** 島袋都市計画部長 約2千1百坪、7筆、地権者が6人となっている。

**質問** 事業全体の進捗について伺う。

**答弁** 島袋都市計画部長 平成27年度において都市計画決定を行う、平成28年度以降に実施設計、物件補償、用地買収等を行う等、本格的な事業に取り組んでいきたい。

二 大原団地入口への信号機設置について

**質問** 主な出入り口が市道安慶名赤道線沿いにあり、曲がり角については幅員が狭く、歩行者にとっても非常に危険な状態にある、当該交差点に信号機の設置ができないものか伺う。

**答弁** 島袋市民部長 新たな信号機を設置する場合には、隣接する信号機との距離が原則として150メートル以上離れている事となっており、米原より100メートル先に信号機が設置されており、交通混雑を来すとの事で難しい。

**質問** 大原団地自治会にとっては長年の課題であり、懸案事項である。何か対策を行うべきだと思いが見解を伺う。

**答弁** 島袋市民部長 運転手や歩行者への注意喚起を促す立て看板やステッカーなどの設置で対応していきたい。

三 道路整備について

**質問** 兼筒段1033番地周辺農地への進入道路整備について、当局で整備ができないものか伺う。

**答弁** 上岡経済部長 農道としての指定はなく、現状においては農業関連事業での道路整備は大変厳しい。

**質問** 農業振興の為に、何かしらの補助メニュー等の工夫ができないものか再度伺う。

**答弁** 上岡経済部長 状況に応じて維持補修の範囲で対応することも想定されるが、優先度等も踏まえながら、市道の管理者側とも調整していきたい。

四 赤道地域(赤道・新赤道)への認可保育園整備について

**質問** アパート等の賃貸家屋が多く、県営大原団地を抱える赤道区や新赤道区においては保育に対するニーズは高いとの認識を持っているが、当局の認識を伺う。

**答弁** 山城福祉部長 保育量及びに確保の方策が決定した後、地域別に事業及び施設整備計画を策定する予定になっている。

**質問** 赤道地域への認可保育園整備の可能性について当局の見解を伺う。

**答弁** 山城福祉部長 子育て支援計画の中で赤道地域への認可保育園等の施設整備計画が策定されれば認可保育所の施設整備も可能であると考える。



- 一 平和学習の推進について
- 二 学校園庭の芝生化について
- 三 青年会の育成について

ひがしはま  
東浜 光雄

一 平和学習の推進について

**質問** 平和学習は講話を聴き、フィールドワークをしながら実施する事は、また違ってくると思う。私の資料によると殆ど同じ学校でしか実施されていない現状にある。(フィールドワークを取り入れた)平和学習を年次的に全校に広げていく事は出来ないか。

**答弁** 嘉手苅指導部長 平和学習は、国語の教材の文学教材もある。道徳の授業でもあり、随時学校では取り組んでいる。全ての学校でフィールドワーク等を活用して導入出来ないかという事は、教育課程の編成は校長の責任で行われており、議員の要望があった事を校長会でお知らせしたい。

**質問** 戦跡を回り体験する平和学習は、非常に核心に迫る、感じるものが多いと思うので、推進して頂きたい。また平和学習について、命を大切に作る心、そして優しい心を育む事に繋がると思うが。

**答弁** 嘉手苅指導部長 平和学習は命を大切に作る心、優しい心を育む事が教育の根幹に繋がると認識している。

**質問** 学校園庭の芝生化の現状は。

**答弁** 赤嶺教育部長 幼稚園は改築

三 青年会の育成について

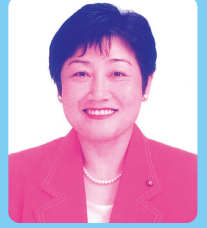
**質問** 時に外溝工事で園庭を芝生化で整備し、小学校は芝生の持つ効用と維持管理や植栽場所に十分留意し、効果的な屋外環境整備を実施している。

**質問** 現在、各地域の青年会活動は衰退の一步、活動に参加する青年が年々減少の状況。青年会が魅力ある活動を展開し、地域の活性化に繋ぐ為に、青年会育成に取り組んでいく必要があると考えるが。

**答弁** 赤嶺教育部長 青年会の活性化は、青年連合会と連携し、実質的な活動を支援しながら、問題解決等に取り組んでいる。

**質問** 魅力ある青年会活動を創り出していくには、問題点を抽出し、徹底的に青年会と話していく必要があると考えるが。

**答弁** 赤嶺教育部長 各字の青年会の掘り起しは、自治会を中心に伝統行事等の保存、継承を通して、地域の担い手としての自覚を促し、青年連合会には設置目的に沿って自ら計画し、決定、実施する自主・自立を基本に置いた活動をしてもらい、教育委員会には必要に応じて指導、助言を行い、各字や全体の青年会の活性化の研修や、魅力ある地域づくりについての意見交換等に積極的に関わっていききたい。



一 (故)世禮国男氏の功績について  
 二 防犯対策について(台風8号)  
 三 子ども・子育て新支援について  
 四 道路整備について  
 五 道路排水路整備について  
 六 具志川総合体育館の改築と駐車場整備について

比嘉 敦子



一 福祉行政について  
 二 国保行政について  
 三 統合庁舎関連について  
 四 基地問題について

伊盛 サチ子

一 (故)世禮国男氏の功績について

**質問** 平成18年6月議会でも取り上げたが、その後の取り組み、市政要覧作成事業の進捗状況を伺う。

**答弁** 赤嶺教育部長 教育委員会としても世禮国男氏の琉球古典音楽に果たした功績は高いものがある。議員提言の世禮国男氏に関連した大会や、イベント等の開催等は現在予定していない。

**答弁** 喜納企画部長 平成27年3月末の作成に向けて取り組んでいる。

二 防犯対策について(台風8号)

**質問** ①台風の災害時における避難場所。②防災無線の役割。③情報伝達無線システムの導入。④特別警報に係る学校休校について。

**答弁** 天願総務部長 ①各庁舎の休校室を開放し、自主避難者を受け入れている。②防災無線は災害発生時、又は災害が発生する恐れのある時等に必要な緊急情報、気象情報、避難勧告等を広く市民へ、迅速且つ確実に伝達する。

**答弁** 嘉手苅指導部長 保護者への確実な連絡方法が課題、じんじんメールの保護者登録をより高めていく。

三 子ども子育て新支援について

**質問** ①病児病後児保育事業の取り組み。②認可外保育園対策と支援について。

**答弁** 山城福祉部長 ①市内に小児科を開設する病院と交渉を重ねているが、

事業の実施に至っていない。②新制度の給付事業に向けて、年15回の研修事業を開催。認可外保育所への支援事業は今後も継続して実施予定。

四 道路整備について

**質問** 字具志川32番地～107番地、字具志川33番地から63番地道路の整備計画について伺う。

**答弁** 久田建設部長 当該道路は市道ではなく、幅員4メートル未満の建築基準法第42条第2項の位置付けで、道路幅員整備は現在の状況では厳しい。

五 道路排水路整備について

**質問** ①字与那城1の1番地周辺。②通称アカムヤー入口周辺の整備計画について伺う。

**答弁** 久田建設部長 ①道路幅員の拡張や側溝及び舗装工事を早急に行いたい。②関係地権者の工事施工の同意が得られ次第、排水路工事を検討していきたい。

六 具志川総合体育館の改築と駐車場整備について

**質問** 体育館の改修と県道10号線からも見通せる様に駐車場の整備は出来ないか。

**答弁** 赤嶺教育部長 うるま市各地区の社会体育施設の多くが築30年を経過しており、これからの維持管理、整備を進める中で総合的な見地から検討していく。

一 福祉行政について

**質問** 中学校卒業までの医療費無料化の実現を、父母の皆さんは期待しているが、早期に実施計画に載せる考えはないか。

**答弁** 山城福祉部長 中学校卒業までの年齢拡充となると、かなりの金額になる。財政当局や関係部署とも協議を行い、検討していきたい。

**質問** 介護保険料、利用料の減額についての考えを伺う。

**答弁** 山城福祉部長 介護保険給付費等準備基金の活用等があり、今後基金の取り崩しが検討されると思われる。また財政安定化計画基金からの借入を行った場合、第6期保険料算定に見込まれる事から、慎重に見極めていきたい。

**質問** 小規模保育事業の施設整備をどの様に進めていくのか伺う。

**答弁** 山城福祉部長 地域における人口推計は幼児期の教育及び保育のニーズ調査に基づき、今後の保育の必要量と確保の方策を決定した後、地域別に施設整備計画を策定する予定。本年度、本市では待機児童の多い0歳から2歳児を対象とする事業として、小規模保育事業所2カ所の整備を予定している。

二 国保行政について

**質問** 国保税の引き下げについて伺う。

**答弁** 島袋市民部長 国保の財政運

営は独立採算が原則であり、医療費給付の不足額を保険料で補う事が無理であるとの事や、平成29年度から実施が予定されている国保の県単位化に伴い、保険税率の改正が懸念される事。そして累積赤字が19億余り、一般会計からの10億円前後の繰り入れをしている状況からすると、国保税の引き下げは厳しいと考えている。

三 統合庁舎関連について

**質問** 各支所の窓口業務、本庁舎まで出向く事なく対応出来るのか伺う。

**答弁** 天願総務部長 統合庁舎完成後の業務形態を見据え、支所窓口の市民課、福祉、国保、納税課窓口で統合を試行しながら、取扱い業務の方法等を選択、検討していく予定。

四 基地問題について

**質問** 辺野古新基地建設に向けた海上作業の強行を推し進めている事に対する市長の見解を伺う。

**答弁** 島袋市長 辺野古への代替建設に向けた政府の対応の在り方について、日本は法治国家であり、それを踏まえ事業主体である成否は、法を尊守の上、慎重に対応すべきとの見解である。

※他に「老朽校舎、園舎等の改築対象となる整備計画について」、「30人学級の実施について」、「天願川の治水対策について」質問しました。



- 一 排水整備について
- 二 環境整備について
- 三 道路整備について
- 四 市議会議員選挙について
- 五 安慶名再開発について

しまぶくろ  
島袋 行正

一 排水整備について

**質問** 居酒屋「天狗」赤道店前の十字路の排水整備の抜本的対策を。

**答弁** 久田建設部長 今後の対策として、道路側溝に集水桝などを増やし、新たに雨水幹線までの排水管を設置していきたい。

**質問** いつ頃までに実施出来るのか。

二 環境整備について

**質問** 平安名(ワイトウイ)から南風原浜屋までの道路側の雑草除去について伺う。

**答弁** 久田建設部長 シルバー人材センターに委託し、1月と9月に除去作業を実施している。また雑草の繁茂状況を見ながら、土木課現業職員で1回実施、年間3回草刈りを実施している。今年も9月に終わったところである。

三 道路整備について

**質問** 県道16号線からシートピアまでの道路の現状と今後の対策について伺う。

**答弁** 久田建設部長 この箇所は、市道1-22号線で、今年の6月の大雨で道路路肩が約30メートル区間沈下し、全面通行止めを行っている状況である。対策は調査設計と同時に隣接地主

への工事中の立ち入り同意を得ているところであり、同意が得られたら早期に工事を着手していきたい。

**質問** 与勝一周道路の南側の現状と今後について伺う。

**答弁** 久田建設部長 沖縄防衛局と県それから市の3者で協議を図り、進めていきたい。

四 市議会議員選挙について

**質問** 市議会議員選挙に公費負担の考えは。

**答弁** 前原選挙管理委員会事務局長 ポスター掲示の場所と選挙公報の発行は公費負担で実施している。

**質問** 公費負担について、最終的に決断を下すのは市長なので、市長の見解を伺う。

**答弁** 島袋市長 若い方々が参画しやすい選挙の在り方を模索し、選挙管理委員会とも調整を図りながら、今後共その点について努力したい。

五 安慶名再開発について

**質問** 琉球銀行具志川支店の壁画保存について伺う。

**答弁** 島袋都市計画部長 建物所有者及び琉球銀行と移転協議を進めているが、契約に至っていない。今のところ壁画の所有者である琉球銀行から承諾を得る段階に至っていない状況である。



- 一 台風被害について
- 二 教育行政について

いしかわ  
石川 眞永

一 台風被害について

**質問** 7月8日に襲来した台風8号で、農水産物の被害額を県は22億円と発表した。うるま市の被害はどうであったか。

**答弁** 上間経済部長 農作物被害額推計は4千6百50万円で、農業施設被害では約1千1百万円、被害額合計は5千7百50万円。水産物の被害報告はない。

**質問** 補助事業施設がパイプ2連棟に限定されている。頑丈なハウスが導入出来ないか。

**答弁** 上間経済部長 H鋼ハウスの施設に関しては、県の特定地域経営支援対策事業を活用しているが、採択を受けるには一定の要件を満たす必要がある。

**質問** のり面、土砂崩れ等、地域別の件数を伺う。

**答弁** 天願総務部長 総数は34か所で、地域別で具志川7カ所、石川26カ所、与那城1カ所、勝連は0である。

**質問** 土砂崩れの問題で、政府からの支援検討が出ているが、沖縄は7百97カ所指定がある。本市も指定があるか。

**答弁** 天願総務部長 土砂災害警戒区域指定は31カ所。地域別で具志川10カ所、石川9カ所、勝連3カ所、与那城9カ所である。

**質問** 土砂崩れで農家の作業小屋、機械倉庫農機具倉庫が見るも悲惨な状況。救済や助成が出来ないか。

**答弁** 上間経済部長 災害による被害農業施設に対する補助等の費用助成制度はない。農業経営で施設整備や機械の更新等、大きな経費を要するの

で国の補助制度の可能性や、一括交付金の活用等など検討したい。

**質問** 石川新開地一周線の道路が土砂崩れにより亀裂しているが、対応を伺う。

**答弁** 久田建設部長 東山原3297-4付近が、延長15メートル、高さ10メートルの路肩決壊がある。農業組合法人うるま農場入口付近が、延長40メートル、沖縄アガリクス入口付近、延長30メートル路肩が崩れ車輛通行に支障をきたしている。現在対策に向けて調査設計を実施しており、早期に工事着手に向けて検討していきたい。

**質問** 東恩納と曙間の採掘跡の崩壊で、幅20メートル程落下している。施設管理者にどういった指導をしているか。

**答弁** 島袋市民部長 9月5日に管理業者に公害及び災害等の未然防止に努める様、指導した。

二 教育行政について

**質問** 県立石川高等学校に観光科の設置が出来ないか。

**答弁** 赤嶺教育部長 石川高等学校は県立で、直接の管轄は県教育庁となっており、具体的な学科の設置は考えていないとの事である。





一 子どもの貧困対策について

子どもの貧困対策について  
国民健康保険税関係について  
市民所得関係について  
企業等の立地計画について  
農水産業振興戦略拠点施設整備事業について  
市民教育にかかる意識向上について  
ふるさと納税制度について  
海の運動会(海中道路付近)について

平 正盛  
たいら まさもり



一 子ども貧困対策について

一 子ども貧困対策について  
二 寡婦控除等のみなし適用について  
三 照間区排水路等の改修整備等について

下門 勝  
しげむし かつ

一 子ども貧困対策について  
質問 「子ども貧困対策法」が今年1月に実施された。その中の相対的貧困率と子どもの貧困率について伺う。

答弁 山城福祉部長 相対的貧困率の定義としては、世帯員の所得合計を、その世帯員の人数で割った金額が、全体の平均値に満たない場合を指し、また子ども貧困率とは、平均的な所得の半分を下回る世帯で暮らす18歳未満の子どもの割合を指す。

質問 「子ども貧困対策法」は市町村に何を求めているか。

答弁 山城福祉部長 教育の支援としては、学校教育による学力保障、生活困窮世帯への学習支援、生活支援として生活困窮者自立支援法に基づく包括的な支援、経済的支援としては、母子福祉資金貸付金の父子家庭への拡大、生活保護世帯の子どもの進学時の支援等がある。

二 国民健康保険税関係について  
質問 前期高齢者交付金について伺う。

答弁 島袋市民部長 今回は、前期高齢者の人数が全国と比較して著しく少ない事に着目し、国への要請に至った。

三 市民所得関係について  
質問 2011年度の一人当たりの県民所得が201万8千円となっているが、うるま市の一人当たりの所得は幾らか。

答弁 上間経済部長 うるま市の一人当たりの所得は161万1千円で、県平均と比較して40万7千円の差となっている。

四 企業等の立地計画について  
質問 企業誘致活動の立地企業の進捗状況と今後の目標について伺う。

答弁 企業誘致活動の立地企業の進捗状況と今後の目標について伺う。

答弁 上間経済部長 県外に企業誘致推進コーディネーター2人を配置し、企業情報の収集分析を行い、企業誘致へ繋ぐ活動を実施している。

五 農水産業振興戦略拠点施設整備事業について  
質問 その事業(農水産物市場)の進捗状況を伺う。

答弁 上間経済部長 平成27年度に建築等の工事を実施し、平成28年度中に供用開始を予定している。

六 市民教育にかかる意識向上について  
質問 一般行政の広報紙もあるが、教育委員会独自の広報紙の発行は出来ないか。

答弁 赤嶺教育部長 広報紙の発行は予定していない。

七 ふるさと納税制度について  
質問 2008年に創設された「ふるさと納税制度」の状況を伺う。

答弁 喜納企画部長 今年度の状況は、8月末で4件25万円となっている。

質問 ホームページ等を使って広く呼びかけをしているか。

答弁 喜納企画部長 周知については、ホームページ等から(内外から)確認が出来る。

八 海の運動会(海中道路付近)について  
質問 海中道路周辺に広がる干潟を利用したイベントは出来ないか。

答弁 喜納企画部長 関係部署の研究課題だと考えている。

一 子ども貧困対策について  
質問 (1)地域未来塾について

質問 大学生や教員OB等地域住民が中学生に無料で学習支援をする地域未来塾を公立中学校二校で始めると報道があった。内容を伺う。

答弁 赤嶺教育部長 経済的理由や家庭事情で家庭内学習が困難で学習習慣が身に付いていない全ての中学生を対象で空き教室等を放課後活用し、指導員による個別指導や実習など原則無料の学習支援である。

(2)貧困対策を学校拠点に拡充について  
質問 学校をプラットフォーム(拠点)と位置付け福祉機関と連携した総合的な支援体制を構築する事になっているが、今後の取り組みを伺う。

答弁 赤嶺教育部長 教育と福祉を繋ぐ重要な役割を果たすスクールソーシャルワーカーの配置を拡充し学校教育による学力保障、生活困窮世帯への学習支援等がある。市では、現在実施している学校支援地域本部事業の拡充を図り、学習習慣の確立と学力向上に向けた施策を推進していく。

(3)就労援助について伺う  
質問 支援内容を伺う。

答弁 山城福祉部長 保護者の学び直しの支援で、一人親家庭の親が高等学校卒業程度認定試験合格講座を受講する際に費用の2割支給や高等学校卒業認定試験に合格した際に4割を支給する。

二 寡婦控除等のみなし適用について  
質問 寡婦控除みなし適用条件を伺う。

答弁 山城福祉部長 課税台帳を基に、保育課で寡婦控除があったものとみなして控除を適用し、控除により階層が変わる場合に減免を行っている。

答弁 久田建設部長 市営住宅家賃算定時の寡婦控除対象は、所得税法に規定されている寡婦と明記されている事から、現在非婚母子世帯に対する「みなし寡婦控除」は適用していない。

質問 寡婦とシングルマザーでは優遇措置や軽減措置で負担の差が生じており、不平等部分がある。当局の判断で出来る部分の市営住宅家賃の優遇措置や軽減措置など早急な対応を願う。

答弁 久田建設部長 現状の市営住宅施工規則では適用できない事から規則を改正し県や他市町村が実施している家賃の減免方法でみなし寡婦世帯への対応を検討していきたい。

三 照間区排水路等の改修整備等について  
質問 流末側(海側)の抜本的対策について伺う。

答弁 上間経済部長 今後、水田かんがい施設整備事業を具志川地区が平成27年度、与那城地区が平成30年度から予定で、排水路改修も含めて取り組んでいきたい。当面は維持管理において定期的に海側開口部砂の除去で対応したい。

※その他に「平敷屋区や照間区の防災道路整備について」、「公共事業最低制限価格について」、「浜比嘉島拝所シルミチューの階段補修について」を質問致しました。



- 一 うまんちゅ健康文化交流広場について
- 二 小・中学校の学力向上について
- 三 うるま市販のゴミ袋について
- 四 統合庁舎について
- 五 高齢者の年金給付内容について

喜屋武 力

一 うまんちゅ健康文化交流広場について  
質問 遊具周りにクッションマットが敷かれていないが。

答弁 島袋都市計画部長 滑り台の着地点等はゴム素材の衝撃吸収材、その他の箇所は芝舗装を採用している。

質問 万全な安全対策をとらなければならない、早急な対応を。

答弁 島袋都市計画部長 今後、ゴム素材の張替も検討したい。

質問 広場を大切にしていけるように、注意事項の看板が設置出来ないか。

答弁 島袋都市計画部長 使用ルールを記した看板を設置する。

二 小・中学校の学力向上について  
質問 全国小中学校の実力テストの結果で、県内の小学校は最下位を脱したが、どの様に改善したのか。

答弁 嘉手苅指導部長 指導内容や指導方法の改善への取り組み等を行った。

質問 改善すべきところは今後どの様に改善するか、また先生方への指導は。

答弁 嘉手苅指導部長 児童生徒個々に細やかに教え、しっかりと引出す事を前提に授業改善を中心に手立てを講じていく。

質問 教師が生徒の気を引き、関心を向ける事で会話も多くなり、心の教育に繋がると思うが。

答弁 嘉手苅指導部長 デジタル教科書等を活用、生徒の関心を高め、対話のある充実した授業を取り組んでいきたい。

三 うるま市販のゴミ袋について  
質問 近隣の市町村と同じ価格で販売出来ない理由は。

答弁 島袋市民部長 中部北環境施設組合構成市町村で価格設定し、高い価格であるとは認識していない。

質問 ペットボトルの回収に、なぜ本市は資源ごみ袋でなければいけないのか。

答弁 島袋市民部長 物が軽量の為、風等

による飛散防止。また異物の混入防止の為にある。

質問 ペットボトルは業者の入札により引き取られているが、金額を伺う。

答弁 島袋市民部長 平成25年度は180万の千円。

質問 資源ごみ袋の改善が出来ないか。

答弁 島袋市民部長 うるま市一般廃棄物減量等推進審議会でも検討させて頂きたい。

四 統合庁舎について  
質問 庁舎の工事請負金契約は1工区が消費税8%、2工区は5%で取り交わされているが、消費税が上がった現在5%で契約した業者にとっては負担増ではないのか。

答弁 宮城総務部参事 消費税が8%となった差額分3%は業者の申告により確定申告時に還付されると税務署に確認済みであり、業者の損益に影響は与えない。

五 高齢者の年金給付内容について  
質問 沖縄戦の犠牲で前期高齢者割合が低く、前期高齢者交付金が全国に比べ低い為、国保財政の悪化に繋がっている。国民年金においても本土の平均受給額に対し、約半分の3万5千円前後であり、高齢者は苦しい生活を強いられる。沖縄戦後の米軍統治下に置かれた為だと思いが、格差是正の内容を伺う。

答弁 島袋市民部長 沖縄県は国民年金制度9年遅れ、校正年金は16年遅れて発足制度がなかったこの期間は格差是正の為、申し出をする事で、その期間を保険料免除期間とみなし、納付の際の3分の1が受給額に反映される。

質問 国に是正措置を求める方針を打ち出せないものか。

答弁 島袋市民部長 国民年金制度では国保財政状況の悪化要因としている前期高齢者の割合を算定基礎とする交付金はなく、現時点では国に是正措置を求める方針はない。

一 排水路の整備について  
質問 前原地内142-18番地付近の道路は雨の度に路面水の処理が悪く、数日にわたりこの場所に滞留を起し、生活に支障を来している。早目の対策を講じて欲しいが。

答弁 久田建設部長 当該箇所は、雨天時に路面水が溜まり、一部が宅地内に流入するのを確認している。現在、関係地権者との対策について調整しており、調整後に早急に対策工事を行っていききたい。

質問 川田367-1番地付近の排水路整備について、この付近も雨の後水が滞留している状況である。整備の計画がないか伺う。

答弁 久田建設部長 現在、道路上に溜まった路面水を処理する為の末端排出路の調査や、その処理工法の検討中。今後、対策方法が決まったら、速やかに工事着手していききたい。

二 地滑り対策について  
質問 台風8号による大雨で高江洲地内の字有地に地滑りが起こり、非常に危険な状況であるが、所見を伺う。

答弁 久田建設部長 当該箇所は台風8号がもたらした集中豪雨により、2カ所の崖崩れがある。住民からの通報を受け、市土木課より応急の資



- 一 排水路の整備について
- 二 地滑り対策について
- 三 農水産行政について

喜屋武 正伸

材として、ブルーシート5枚、土のう150袋、木杭40本等を地滑り箇所に提供し、被害拡大が無い様急対策を講じている。市では詳細な現地調査や対策要望に向けて各自治会の協力のもと、地権者の同意を得ながら、ヒアリング資料を現在作成中で、地滑り対策事業の採択に向け取り組んでいる。

三 農水産行政について  
質問 農水産業振興戦略拠点施設整備事業の進捗状況について伺う。

答弁 上間経済部長 平成24年度は事業計画の策定。25年度は事業実施計画及び基本設計の策定業務に着手、26年9月に完了予定。26年度は測量調査及び実施設計の実施と土地収用法に基づく事業認定後に用地取得及び物件補償を執行予定。27年度に建築等の工事に着手し、28年度中に供用開始を目指している。

質問 施設運営者の選定方法や時期を伺う。

答弁 上間経済部長 運営については、指定管理者制度を活用した民間及び団体による運営方式とし、公募で運営予定者を選定する。スケジュールについては、平成27年2月に公募を行い、27年6月議会において予定者の決定を見込んでいます。



一 教育行政について

なかま 名嘉眞 ぎとく 宜徳

一 教育行政について

質問 ①県内公立学校教員の病気休職者数を伺う。

答弁 嘉手苅指導部長 本県の公立学校教員の平成23年度病気休職者は3百73名で、本務教員数に占める割合の2・8%である。

質問 ②病気休職者のうち、精神性疾患の率を伺う。

答弁 嘉手苅指導部長 41・9%である。

質問 ③沖繩の教員に精神性疾患が多い主たる要因を伺う。

答弁 嘉手苅指導部長 教員の精神性疾患の要因について、学校を取り巻く環境は複雑化、困難化しており、いじめや暴力行為等の問題行動の発生学校に求められる役割も拡大、多様化しており、ストレスを感じる教員が多くなっている。

質問 ④沖繩県は精神性疾患の割合は6年連続のワーストワンである。教員が肉体的、精神的に負担を感じている。その事を調査した事があるか伺う。

答弁 嘉手苅指導部長 調べた事はない。

質問 ⑤小中学校教員の持ち時間数を伺う。

答弁 嘉手苅指導部長 小学校で週23〜24時間。中学校で週22〜23時間である。

質問 ⑥体育、音楽、図工、理科等は専任を置いた方が良くと思う。これらの配置状況を伺う。

答弁 嘉手苅指導部長 本年度うるま市では音楽14人、理科19人配置されている。

質問 ⑦教員の過当たりの平均超過勤務時間を伺う。

答弁 嘉手苅指導部長 平均の超過勤務時間を伺う。

質問 ⑧うるま市の小中学校の臨時任用教員数を伺う。

答弁 嘉手苅指導部長 本年度5月1日現在で1百35人、全教員の18・8%である。

質問 ⑨この数について当局の所見を伺う。

答弁 嘉手苅指導部長 高いと感じている。

質問 ⑩教員の多忙化を改善する為の施策を伺う。

答弁 嘉手苅指導部長 多忙化を解消する為健康相談、各種相談員、支援者の配置、業務の縮減、効率化について検討していきたい。

質問 ⑪市独自の教員配置、退職教員の活用について伺う。

答弁 嘉手苅指導部長 市独自の教員配置は難しい。退職教員等の活用については、学習支援員を各小中学校に2人派遣している。

質問 ⑫30人学級の早期実現に向けて、教育委員会の考え方を伺う。

答弁 嘉手苅指導部長 30人学級の早期実施に向けて、教職員定数改善計画の早期実施を強く要望していきたい。



- 一 女性登用について
- 二 防災行政について
- 三 赤崎交差点の渋滞について
- 四 銀座通りの時計台について

こうち 幸地 まさかず 政和

一 女性登用について

質問 本市職員に対する女性在职者数とその比率について伺う。

答弁 天願総務部長 職員数8百43人、うち女性職員3百13人で37・1%の比率である。

質問 女性管理職割合と登用結果の評価について伺う。

答弁 天願総務部長 平成26年度16・3%で管理職登用は向上している。

質問 女性管理職登用割合30%にする為の登用策について伺う。

答弁 天願総務部長 登用策は定めているが、第2次男女共同参画行動計画の策定で検討していきたい。

二 防災行政について

質問 台風8号襲来中、避難所の対応及び避難勧告の発令時間は適切だったか。

答弁 天願総務部長 避難所の開設方法や職員の動員、避難情報に関する発表のタイミング、台風時における避難の在り方など、改善を図っていく必要がある。

質問 行政が発令した避難勧告により避難したところ、予期せぬ損害を受けた場合、損害賠償を求めめる事が出来るか、見解を伺う。

答弁 天願総務部長 損害賠償を求められ、裁判に発展している事例はある。

質問 土砂災害特別警戒区域の中で土砂災害特別警戒区域の政令基準に

該当するものは県に指定要請する事について伺う。

答弁 天願総務部長 県は土砂災害特別警戒区域に取り組むとの報道もあり、今後県の動向を注視していきたい。

三 赤崎交差点の渋滞について

質問 赤崎交差点改良事業後、時間帯によって渋滞が悪化し、苦情の声が絶えない。同事業評価と課題について伺う。

答弁 島袋都市計画部長 事業効果として、同交差点の事故等が減少している。しかし交通混雑の度合いが増えている為、その対策が課題である。

質問 赤崎交差点の渋滞の解消を図り、円滑な交差点にする為の方策について伺う。

答弁 島袋都市計画部長 北部国道事務所等に交通渋滞の解消を要請し、今後道路プログラムの中で総合的に検討していきたい。

四 銀座通りの時計台について

質問 銀座通りの時計台が機能していない現状をどの様に認識しているか。

答弁 久田建設部長 時計は機能していると思つた。今後は定期的に巡回し、状況を把握していきたい。

質問 早急に機能回復を図るべきだと考えるが、今後の維持補修について伺う。

答弁 久田建設部長 時計を交換し、正確な時刻を表示出来る様に。舞天人形も維持保全していきたい。



- 一 台風8号の被害状況について
- 二 農水産業振興戦略拠点施設整備事業について
- 三 県公共施設誘致について

なかやま たかし  
名嘉山 隆

備事業促進を図る事。

一 台風8号の被害状況について

質問 栄野比自治会地区の天願川氾濫の被害状況は。

答弁 天願総務部長 住宅床上浸水12件、車両水没14台、バイク水没4台、屋根の瓦付近まで浸水した住宅は家電製品、生活必需品全てが水に浸され、使用できない状況。当地区を通る国道は道路冠水、隣接する建物の床上浸水や車両水没の被害があった。

質問 天願川氾濫状況を受け被害者に対しての対応は。

答弁 天願総務部長 申請に基づき、市民生活課で災害見舞金一世帯当たり2万円支給。今回の申請件数は11件、支給総額は22万円。

質問 天願川氾濫に対する対策と今後の計画について、県の役割と市の役割は。

答弁 久田建設部長 県は氾濫状況の検証に向けての調整中。検証後に原因等の解決、今後の対策や計画等が示される。天願川水系の治水効果向上には早急な河川改修整備促進、早期完了が氾濫抑止になる。市も早急な氾濫状況の検証も含め、対策を講じるよう県へ要請したい。県の役割は、氾濫被害から地域住民の暮らしを守る事、水質の改善等適切な河川の維持管理を行う事。市の役割は、河川整備事業を進めている県に協力、関係自治会からの要望等を県に進達、協議、調整等を行い、河川整

二 農水産業振興戦略拠点施設整備事業について

質問 施設運営はJ Aと市観光物産協会と共同の運営形態として管理する事も可能か。

答弁 上間経済部長 施設運営者の選定は、公の施設の指定管理者制度の運用に関する指針に基づき公募。当指針では、民間の能力及びアイデアを活用し、効果的、効率的な公共施設の管理運用を図る。適正な法人、その他の団体を指定管理者の候補者として位置づけている事から、J Aと市観光物産協会が共同運営体として応募される事は、組織のあり方や、一定の条件等を満たせば、特に問題はないと考えている。

三 県公共施設誘致について

質問 県公式サッカー場を含めた複合型スタジアム建設誘致とI Rの誘致について何う。

答弁 喜納企画部長 現時点で本市は、県が整備を検討しているサッカースタジアムの建設誘致を進める環境にはないものと認識。今後は県と那覇市の調整、状況を注視したい。

答弁 上間経済部長 I R施設は、国の議論の内容、県の動向に注視し、他自治体の動向も見据え情報収集等に努めていく。



- 一 与勝中学校正門前の通学路、危険箇所への対応、整備について
- 二 狭隘道路の拡幅整備と対応について
- 三 漁業関係者へのサメ被害の現状・課題、対策について
- 四 障がい者就労支援センターの設置について
- 五 障がい者就労支援と「うるま市障害者就労支援センター」設立への取り組みについて

さくだ けんじ  
佐久田 悟

一 与勝中学校正門前の通学路、危険箇所への対応、整備について

質問 県道16号線、与勝中学校正門付近の通学路危険箇所対策について。

答弁 久田建設部長 議員提言を受け、歩道の状況を踏まえ、県中部土木事務所へ歩行者が安全に通行出来る様、早急な対策の要請を行っている。また市道に集水ますの設置等を検討し、排水処理対策を講じていきたい。

二 狭隘道路の拡幅整備と対応について

質問 与那城西原831番地前付近の道路拡幅整備について。

答弁 上間経済部長 農用地の区域外で、国の補助事業では拡幅整備は厳しい。

質問 再度答弁願いたい。

答弁 上間経済部長 建設部管理の部分もあり、拡幅整備が可能か関係部署と調整協議を図り検討していく。

三 漁業関係者へのサメ被害の現状・課題、対策について

質問 うるま市漁業関係者へのサメ被害の現状と対策、対応は。

答弁 上間経済部長 素潜り漁でタモに入れたアカジン等の高級魚が奪われたり、漁師の足ひれの損害や被害がある。

質問 県や国と連携し、しっかりとした対応が出来るのか。

答弁 上間経済部長 サメによる漁業被害軽減、安全操業を含め、県内各漁協と連携を図り、水産振興に努めていきたい。

四 高次脳機能障害等の難病でありながら障害手帳がない人たちへの対応、支援について

支援を必要としているのに支援を受けられず困難な生活を続けている障がい者のいる事、その実態、現状把握は。

答弁 山城福祉部長 医療機関等から障がい福祉課へ支援依頼の連絡があり、それが実態を把握する状況。

質問 高次脳機能障害や発達障害等、難病の方々への行政当局の考え方対応について。

答弁 山城福祉部長 第4次障害福祉計画の中で支援について関係機関で情報や課題を共有、支援対策協議の場を検討していく。

五 障がい者就労支援と「うるま市障害者就労支援センター」設立への取り組みについて

質問 障がい者就労支援、就労状況の現状は。

答弁 山城福祉部長 7月末で就労移行支援事業69人、就労継続支援事業A型で百30人、B型で4百10人の合計6百9人の方々障害福祉サービスにおける訓練等給付の利用をしている。

質問 うるま市障害者就労支援ネットワーク連絡協議会と行政との連携、就労専門部会設置の現状は。

答弁 山城福祉部長 平成25年度より、障害者就労支援事業所情報交換会を実施、課題や情報の共有を行っている。

質問 障がい者の就労支援窓口として、就労支援センター設置も必要だが、見解を伺う。

答弁 山城福祉部長 市民からの就労に関する相談窓口を一本化した就労支援を行うセンターの設置が出来ないか、関係部署と連携し検討していきたい。



一 観光振興について  
二 公共工事に関する事務改善及び業者指名のあり方等について

おおや  
大屋 政善  
せいぜん

一 観光振興について

**質問** ①2月定例会で、道路の拡張について関係部署と協議調整するとの答弁であったが、どの様な協議を行ったか。②市の単独事業で道路拡張工事を行うとしたら、予算はどの程度かかるか。③国・県の補助事業が期待出来ないのであれば、市の単独事業で取り組んだ場合の経費、予算は。

**答弁** 上間経済部長 ①農道の拡張整備について、県に確認したところ拡幅の必要性、あるいは農林水産関連の補助事業での整備は難しいとの回答であった。一括交付金による整備についても、交付要綱等の趣旨に合致する理論構成が難しく厳しい。市道認定による整備についても、うるま市の認定基準に該当しないため難しいとの担当課からの返事があった。②大型バスが交差出来る必要拡幅は約5.5メートル。路肩及び道路側溝を含めて総幅員を6.5メートルと仮定した場合の概算要求は、2千7百40万円程度を想定している。

等々の見直し時期とほぼ相まってくるので、土地改良事業等の事業認可変更手続等も組合で検討し、今後の総合計画の中で、この事が検討される様な条件整備をして頂ければ幸いである。

一 公共工事に関する事務改善及び業者指名のあり方等について

**質問** 解体工事施工技師を持っていないと、解体工事への入札参加が出来ない県内市町村はどこか。②特記仕様書から解体工事施工技師を条件とする事を削除すべきだと思うかどうか。③公共工事に関わる業者の提出書類の事務改善について伺う。

**答弁** 島袋都市計画部長 ①県内10市について調査した結果、解体工事施工技師を入札参加条件としている市はない。②ご指摘の件については、指名業者選定委員会の中で検討させたい。③工事の書類については、他市町村において、どの様な書類を提出させているかなど、調査の方法も検討しながら対応したい。またどの様な書類が他市町村より多いと感じているのか等を、業者会を通して調査していきたい。



一 非正規職員の労働条件等について  
二 優良農機具等補助制度について  
三 ひとり親支援制度の内容と現状について

みやざき  
宮里 朝盛  
ちようせい

一 非正規職員の労働条件等について

**質問** 非正規職員の労働条件について伺う。

**答弁** 上間経済部長 台風災害等で農家は非常に厳しい状況。国の事業等も導入し対応している。本市の人、農地プラン事業の説明会、意見交換会を行っており、その中で補助制度も紹介している。

**質問** 課題等について伺う。

**質問** ひとり親世帯の説明を。

**答弁** 上間経済部長 沖縄県の非正規雇用労働者の割合は全国平均38.2%に対し、44.5%で不安定な雇用形態の基で働く労働者の割合が全国一高くなっている。うるま市は非正規雇用者の数値は把握していない。

**答弁** 山城福祉部長 ひとり親世帯には母子世帯、父子世帯、寡婦世帯がある。平成25年8月1日現在で、本市の母子世帯は2千8百88世帯、父子世帯は7百8世帯、寡婦世帯は1千56世帯となっている。

一 優良農機具等補助制度について

**質問** 優良農機具等補助制度について伺う。

**質問** 行政としての支援は。

**答弁** 上間経済部長 本市農業委員会からも建議書が挙げられており、農家の需用は大きいと考えている。農機具購入で、国や県の補助事業で適用出来るものは「新規農業一貫支援事業」、機械のリースを対象にした「攻めの農業実践緊急対策事業」がある。これらの補助制度に該当しない機械、設備については一括交付金の活用も調査検討していきたい。

**答弁** 山城福祉部長 国県の支援を受け、直接行っている事業に児童扶養手当、母子・父子家庭等医療費助成事業等の事業、市が申請を受け県等へ進達する事業にハローワークへの支援依頼やヘルパー派遣の申請受付等、多くの支援事業を行っている。

**質問** 農家の皆さんが、意欲的に農業経営が出来る様な指導を続けて頂きたい。

**質問** 制度の周知方法は。

**答弁** 山城福祉部長 市の広報紙やホームページへの掲載。児童扶養手当受給者への資料配布、窓口来所時の母子係への案内を行っている。今後民生委員、児童委員へも制度の説明を行い、必要な方が利用できる様努力していきたい。



- 一 経済環境について
- 二 具志川東中学校全面改築について
- 三 国民健康保険・介護保険について
- 四 保育事業について

なかむら まさと  
中村 正人

一 経済環境について

**質問** 嘉手納基地軍民共用化について、中部市町村会の取り組みについて、状況や内容について伺う。

**答弁** 喜納企画部長 嘉手納基地を取り巻く三市町が議論も無い中で、うるま市が率先して議論を行い、且つ積極的に取り組んでいく事案ではない。

二 具志川東中学校全面改築について

**質問** 改築時期及び内容を伺う。

**答弁** 赤嶺教育部長 具志川東中学校は昭和56年9月に開校、校舎が築33年、屋内運動場が築31年また教室不足から昭和63年3月、平成11年3月に増築を行っている。校舎の大部分が旧耐震基準で設計、建築されている。平成25年度に文部科学省の早期耐震化方針に沿って、耐震診断を実施したところ、耐震化が必要な施設である。今後事業化に向けて関係機関と調整を図りたい。

三 国民健康保険・介護保険について

**質問** 介護保険料の改定に対しての考え方や予防事業の内容について伺う。

**答弁** 山城福祉部長 現在進めている第6期介護保険事業計画の策定状況は、コンサルタントに日常生活圏域ニーズ調査の分析と、現計画の点検を

行っており、取りまとめ次第、第2回の策定委員会を10月初旬に開催する予定。次に介護予防事業では前期高齢者を対象に行い、健康うるま21関連で健康支援課と連携を図る事も重要と考えている。

**質問** 業務量が多い健康支援課に対して、連携を図るのではなく、独自で行う事について伺う。

**答弁** 山城福祉部長 65歳以上に対しての予防事業は実践しており、若い世代に対して、予防に対する意識の啓発を行い、包括センターにおいて検討している。

**質問** 健康支援モデル事業について伺う。

**答弁** 島袋市民部長 健康教育、特定検診受診率の向上、地域住民の健康力の向上の推進等、琉球大学や名桜大学との連携で実施している。

四 保育事業について

**質問** 次年度の定数確保について伺う。

**答弁** 山城福祉部長 既存の公立法人の定数見直しや認可保育施設の老朽化に伴い、増改築、更に認可園の増築や分園等を行う。また年次的に新設や増改築、既存施設の弾力的運用や小規模多機能保育事業の開設による待機児童の解消を積極的に行う。



- 一 防災行政について
- 二 天願川河川整備について

たいら えいじゅん  
平良 榮順

一 防災行政について

**質問** 台風8号特別警報への対応について伺う。

**答弁** 天願総務部長 災害警戒本部を対策本部にし、避難勧告や避難所の開設及び職員派遣の対応を行った。

**質問** うるま市の避難勧告について伺う。

**答弁** 天願総務部長 台風の最接近の前に早目の避難を呼びかけた、高潮の特別警報の発表に伴い、沿岸地域を対象に避難勧告を出し、二階以上への避難を呼びかけた。

**質問** 天願川可動堰の管理について、今回の水害の一因として、堰の開放が遅れたのではないかと聞かれているが、どの時点で開放したのか、自動か手動か伺う。

**答弁** 天願総務部長 7月7日午後5時に2基あるラバー堰の内1基を手動で倒伏させ、残り1基は7月9日午前6時40分倒伏した。堰の天端高は海拔2.1m、堰より2km上流の天願橋付近護岸の天端高は約6mあり、その事が水害の一因とは思っていない。

二 天願川河川整備について

**質問** 天願橋下流部の倒木の撤去と流水量の確保について伺う。

**答弁** 久田建設部長 倒木箇所が米軍提供施設内の為、許可後早急に対処する様、準備中であるとの事。流水量

確保の為の堆積土砂の浚渫についても7月29日付で県に要請している。

**質問** 天願橋付近の河床の浚渫について伺う。

**答弁** 久田建設部長 予算上の制約から、緊急性や地水上の影響等を考慮して対応していると聞いている。氾濫は天願橋下流の未整備箇所が主要な原因と考えており、不透流計算によるシミュレーションを行い、土砂撤去の効果も含め検証する予定になっていると聞いている。

**質問** 昆布地域からの用水路と天願川の合流部について、ほぼ直角に合流している為、天願川への放流がスムーズにいかないと思われたが。

**答弁** 三浦水道部長 同排水路は、設計上雨水幹線としての機能は確保されている。水害の主な要因は下流部の未整備箇所での通水阻害により、天願川の増水により放流出来なかつたものと考えられる。

**質問** 沖縄県が作成した、天願川流域整備基本方針と整備計画に、平成13年9月の台風16号大雨の被害に関する記述は、天願集落の被害が記載されていない。早急に訂正させるべきだと思いが、見解を伺う。

**答弁** 久田建設部長 県に訂正を申し入れた。



兼本 光治

- 一 街灯設置について
- 二 東京オリンピック・パラリンピックについて
- 三 屋敷名土地区画整理事業について

一 街灯設置について

質問 県道8号線、10号線の道路照明灯の設置状況について。その後、道路管理者である中部土木事務所へ当局が道路照明灯設置要請を行った状況について伺う。

答弁 久田建設部長 平成25年度に、県へ20カ所の設置要請を行い、それを受けて県は平成25年度に調査に着手している。県からは交通安全上すぐに必要と思われる箇所が数カ所あり、県道8号線の勝連小学校入口、それから勝連総合グラウンド入口の2カ所は、今年度中に設置予定との事。また県道10号線の3カ所は、平成26年度以降に設計予定。更に道路照明灯の設置が必要と思われる5カ所については、設計や設置工事の時期は未定であるが、設置予定。他の10カ所は、道路照明施設設置基準に照らしあわせて検討を要するとの事。

二 東京オリンピック・パラリンピックについて

質問 去る7月26日に開催された「うるま市PRシンポジウム」で市民からの声、提言等があったが、それについて伺う。

答弁 上間経済部長 シンポジウムを開催した内容は、日本パラリンピック

ク委員会事務局長の中森邦男氏をお招きし、基調講演をして頂いた。第二部では約80名が参加し、多くの貴重な意見があった。またシンポジウムではアンケートを実施しており、「地域での話し合いを多く持つてほしい」「スポーツツーリズム拠点としての誘致などスピード感を持って対応してほしい」などの意見があった。

三 屋敷名土地区画整理事業について

質問 進捗状況を伺う。

答弁 島袋都市計画部長 埋め土の土が必要となっており、公共事業の施行者と協定を結び11月頃から公共残土の受け入れを開始する予定と伺っている。

質問 今後の事業計画と新規道路について、当局の見解を伺う。

答弁 島袋都市計画部長 主要区画道路建設への公共施設管理者負担金の導入については、道路事業など補助メニューの採択や、本市実施計画への位置付けなど、財源の確保にクリアすべき課題がある。設立準備委員会においては、11月中頃から事業計画の策定に入る予定と伺っているので、今後この様な課題について関係部署と協議をするなど、検討していきたい。



田仲 康和

- 一 中城湾港新港地区について
- 二 県道36号線関連について
- 三 高江洲小学校ナイター施設について
- 四 南風原1531-4番地周辺に隣接する排水溝の維持管理について
- 五 食生活改善推進員の活動について

一 中城湾港新港地区について

質問 白線が消えてしまった路線が多く、危険な状況を改善できないか現状認識を伺う。

答弁 上間経済部長 白線が消えている箇所が多く、歩行者の安全や車両事故等懸念をしている。

質問 大きな事故が起こる前に白線表示をすべきではないか。

答弁 上間経済部長 平成26年度に州崎幹線2号線の白線改修工事予定と伺っている。他の道路については県の担当部局と維持管理について調整をしていきたい。

質問 B公園で8月29日にドクターヘリ搬送現場で起きた状況を伺う。

答弁 照屋消防長 雑草に覆われ着陸及び救急活動に支障をきたすと判断した救急隊員により、西側の除草された部分に誘導し着陸させた。結果として救急車の位置から移動距離が延び搬送経路が不安定で今後の救急活動についても懸念される。

質問 一刻一秒を争う救急搬送現場において二度とあつてはならないが、今後の対応を伺う。

答弁 島袋市長 緊急時における利用に支障のないよう今後とも連携して維持管理に万全を期したい。

二 県道36号線関連について

質問 騒音測定を実施し必要なら遮音壁の設置も検討できないか。

答弁 島袋市民部長 当該路線の騒音測定を優先的に実施できないか検討し、遮音壁の設置については測定及び評価の結果を踏まえ、必要な場合は道路管

理者や関係行政機関に要請したい。

質問 ドンキホーテうるま店前の交差点に右折車両渋滞緩和の為、矢印式信号機の設置が出来ないか。

答弁 島袋市民部長 渋滞緩和を図るため矢印式信号機を加える方向で検討中である。

三 高江洲小学校ナイター施設について

質問 ナイター照明の増設が出来ないか。

答弁 赤嶺教育部長 平成28年度外構工事で管理運営も含め検討したい。

四 南風原1531-4番地周辺に隣接する排水溝の維持管理について

質問 維持管理の状況がひどいので所見を伺う。

答弁 上間経済部長 排水溝周辺には雑草・雑木が自生し排水機能に支障を来し、排水溝流末の大部分が閉塞している現状を確認している。

質問 その対応方は。

答弁 上間経済部長 速やかに雑草・雑木の伐採処理及び流末の堆積土砂の除去も含め対応したい。

五 食生活改善推進員の活動について

質問 うるま市民の高い肥満率を解消するため食生活改善推進員の活動をどう支援していくのか。

答弁 島袋市民部長 正しい栄養に関する担い手として食生活改善推進員の活動は益々重要になる。市では食生活改善推進員の活動を支え市民の健康増進に努めたい。



一 東海岸整備構想(具志川)海中道路入口間の進捗状況と今後の整備計画について

二 小・中学校の学力向上対策について

三 復興記念会館跡地の(仮称)市民コミュニティ公園の整備について

四 行政施策の温故知新について

五 今後市長及び職員に期待する施策の推進について

照屋 義正

一 東海岸整備構想(具志川)海中道路入口間の進捗状況と今後の整備計画について

質問 具志川から屋慶名間の海岸線はここに勝るものはないと思う。その整備計画の進捗状況について伺う。

答弁 喜納企画部長 人口ビーチの整備や海浜リゾート地及びイグサの活用等、様々な提言を頂いた。今後、島しょ地域への入り口としてふさわしい整備を展開していく必要がある。

二 小・中学校の学力向上対策について

質問 小中学校の学力について、小学校が全国で24位と飛躍的な学力向上の成果を見た。その要因について伺う。

答弁 嘉手刈指導部長 各学校へ学習支援員を配置し、個に応じた指導を適切に実施。指導内容や指導方法の改善に向けた取り組みを行った。

三 復興記念会館跡地の(仮称)市民コミュニティ公園の整備について

質問 児童館も含めて、コミュニティ公園としての整備について伺う。

答弁 島袋都市計画部長 既存の上平良川公園が会館跡地から約150メートルの位置にあり厳しいものがある。

質問 公園の距離等の問題があれば、児童館として整備する事について検討出来ないか。

答弁 天願総務部長 利活用に関し、跡利用計画が各課から提案された場合、全庁的に調整、検討していく。

四 行政施策の温故知新について

質問 中城湾港新港地区の整備、頭脳立地法の拠点地域指定、天願川ふるさと川モデル事業、野鳥の森自然公園、具志川石炭火力発電所の誘致、シルバー人材センターの設立、市民芸術劇場整備等の取り組みと成果について。

答弁 喜納企画部長 議員が行政職員として関わった中から抜粋された事業と理解している。いずれも本市発展に大きく貢献した事業であり、真摯な姿勢と行政行動力は尊敬すべきものである。

五 今後市長及び職員に期待する施策の推進について

質問 市長及び職員に期待する施策について4件提案する。

答弁 島袋市長 温故知新についても質問の一部が紹介されたが、私が議員時代に関わってきた事業もあり、大変感慨深いものがある。1点目の一括交付金の利活用については職員共々知恵を出し合い、本市発展に活用していきたい。2点目は大学院大学周辺整備基本計画に基づき引き続き国や県に要請していく。3点目は農水産業振興戦略拠点施設も建設予定。4点目については、観光施設と島々の観光資源を有機的に結び付ける仕組み作りが重要と考えている。定例議会の度に具体的に富んだ質問で勇退後も本市発展にご協力頂きたい。

※他に「中城湾港新港地区の背後の土地利用計画について」「グリーン・グリーン・グレイシヤス(CGG)について」を質問しました。



一 あげな幼稚園・小学校施設管理について

二 7月8日に襲来した台風8号について

又吉 法尚

一 あげな幼稚園・小学校施設管理について

質問 あげな幼稚園外周フェンスの早急な補修対応について伺う。

答弁 赤嶺教育部長 議員ご指摘の通り危険な状況であるので、早急に補修する。

質問 幅員がとも広い雨水幹線への蓋の取り付け、早急な対応を。

答弁 赤嶺教育部長 学校施設の安全管理面から、管理者側と協議してやっていきたい。

質問 幼稚園側の新たな通学口(正門)の設置について伺う。

答弁 赤嶺教育部長 適切な学校環境整備の面から、雨水幹線の管理者側と協議の上、検討したい。

質問 駐車場の整備及び学童保育送迎者の駐停車場確保について伺う。

答弁 赤嶺教育部長 安全確保の面から雨水幹線の管理者側とも協議のうえ、検討したい。

質問 スクールゾーンにおけるカラー舗装の整備について伺う。

答弁 久田建設部長 現在は白線のみでの対応を行ってきたが、今後は各小中学校周辺において計画的に路側帯のカラー舗装を進めていきたい。

質問 運動場のリレーコース内における雑草の除去及び整備について、考え方を伺う。

答弁 赤嶺教育部長 適切な学校環境整備の面から、土壌改良を含むグラウンド改修を検討したい。

二 7月8日に襲来した台風8号について

質問 川崎自治会から要請のあった河川整備計画の件に対する一日も早い川崎川の早期整備要請について伺う。

答弁 久田建設部長 今年度に天願川合流部から川崎橋向け8百メートルの区間については、次年度27年度より早期整備に向けて進めていきたいとの事。

質問 現在通行止めの処置がとられているルーシー河橋の早急な対応を伺う。

答弁 久田建設部長 年度内には工事完了し、通行止めの解除を行う予定。

質問 甚大な水害を蒙った市民への対応、補助金の額を伺う。

答弁 天願総務部長 一世帯当たり2万円を支給、今回は11件22万円を支給している。

質問 災害見舞金以外に人が生活する上で、最低限度の現物支給援助が出来るか。

答弁 天願総務部長 赤十字と連携のもと、毛布や洗面道具、ウェア等の現物支給を行っている。

質問 今回大氾濫した天願川、川崎川を抱えるうるま市として、市独自の終日休校扱いの見直し、また学校長判断の申し合わせなど、今後の対応を伺う。

答弁 嘉手刈指導部長 園長、学校長が園児、児童生徒の安全確保を最優先し、臨時休校措置の的確な判断が出来る様、指導や助言をしていく。

※その他「安慶名中央公園・喜屋武マーブ公園・具志川総合グラウンド周辺の駐車場管理について」「学童保育(放課後児童クラブ)について」質問しました。



平成26年9月 第88回うるま市議会(定例会)議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
認定第1号	平成25年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定について (歳入51,696,931,174円 歳出49,839,912,763円 差額1,857,018,411円)	市長	9月19日	認定
認定第2号	平成25年度うるま市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について (歳入17,714,948,279円 歳出19,671,416,824円 差額△1,956,468,545円)	〃	〃	〃
認定第3号	平成25年度うるま市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について (歳入2,460,764,553円 歳出2,410,916,545円 差額49,848,008円)	〃	〃	〃
認定第4号	平成25年度うるま市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について (歳入8,358,206,262円 歳出8,239,258,755円 差額118,947,507円)	〃	〃	〃
認定第5号	平成25年度うるま市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について (歳入15,363,553円 歳出14,699,649円 差額663,904円)	〃	〃	〃
認定第6号	平成25年度うるま市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について (歳入814,937,936円 歳出813,170,327円 差額1,767,609円)	〃	〃	〃
認定第7号	平成25年度うるま市水道事業会計決算認定について	〃	〃	〃
報告第13号	平成25年度決算に基づくうるま市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	〃	9月1日	報告
報告第14号	放棄した私債権の報告について(じんぶん館使用料及び共益費)	〃	〃	〃
報告第15号	放棄した私債権の報告について(住宅使用料及び共益費)	〃	〃	〃
報告第16号	専決処分の報告について(車両事故)	〃	〃	〃
議案第51号	平成26年度うるま市一般会計補正予算(第2号) (補正額:3,244,311千円 補正後予算:56,625,055千円)	〃	9月19日	原案可決
議案第52号	平成26年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算(第3号) (補正額:△16,331千円 補正後予算:20,171,875千円)	〃	〃	〃
議案第53号	平成26年度うるま市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) (補正額:4,755千円 補正後予算:855,057千円)	〃	〃	〃
議案第54号	平成26年度うるま市介護保険特別会計補正予算(第2号) (補正額:134,059千円 補正後予算:8,855,319千円)	〃	〃	〃
議案第55号	平成26年度うるま市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) (補正額:1,060千円 補正後予算:15,952千円)	〃	〃	〃
議案第56号	平成26年度うるま市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号) (補正額:34,155千円 補正後予算:2,630,631千円)	〃	〃	〃
議案第57号	高江洲小学校校舎及び水泳プール増改築工事(建築1工区)請負契約について (契約金額:841,428,000円)	〃	〃	〃
議案第58号	高江洲小学校校舎及び水泳プール増改築工事(建築2工区)請負契約について (契約金額:864,000,000円)	〃	〃	〃
議案第59号	高江洲幼稚園増改築工事(建築)請負契約について(契約金額:213,980,400円)	〃	〃	〃
議案第60号	うるま市税条例の一部を改正する条例 (地方税法の一部を改正する法律の施行に伴う当該条例の改正)	〃	〃	〃
議案第61号	うるま市固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例 (沖縄振興特別措置法の一部改正に伴う当該条例の改正)	〃	〃	〃
議案第62号	うるま市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例 (「子ども・子育て支援法」及び「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」の施行に伴い、児童福祉法に基づく家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定めるための条例)	〃	〃	〃
議案第63号	うるま市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例 (子ども・子育て支援法の施行に伴い、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定めるための条例)	〃	〃	〃

## 平成26年9月 第88回うるま市議会(定例会)議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
議案第 64 号	うるま市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 (「子ども・子育て支援法及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」における「児童福祉法」の改正により、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定めるための条例)	市 長	9月19日	原案可決
議案第 65 号	うるま市福祉事務所設置条例及びうるま市母子及び父子家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例 (母子及び寡婦福祉法の一部改正に伴う当該条例の改正)	//	//	//
議案第 66 号	うるま市附属機関設置条例の一部を改正する条例 (うるま市人材育成産業拠点整備計画策定委員会設置のための当該条例の改正)	//	//	//
議案第 67 号	うるま市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 (教育相談事業に係る非常勤の職員の報酬を別に定めるため、及びうるま市人材育成産業拠点整備計画策定委員会委員の報酬を定めるための当該条例の改正)	//	//	//
議案第 68 号	沖縄県都市交通災害共済組合の解散について	//	//	//
議案第 69 号	住居表示を実施する市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法について	//	//	//
発 議 第 7 号	うるま市議会委員会条例の一部を改正する条例	中村正人 議員他11名	//	//
発 議 第 8 号	「憲法解釈による集团的自衛権行使容認」の閣議決定の撤回を求める意見書	名嘉真宜徳 議員他11名	//	否 決
陳情第 69 号	「給与制度の総合的見直し」に係る要請書	国家公務員労働組 合沖縄県協議会 議長 山田 貞光	//	不採択
陳情第 70 号	県産品の優先使用について(要請)	公益社団法人沖縄 県工業連合会 会長 湧川 昌秀 他4名	//	採 択
陳情第 71 号	地元産品奨励及び地元企業優先使用について(要請)	うるま市商工会 会長 山城 和正	//	//
請 願 第 5 号	台風8号の大雨による冠水対策(排水路整備)についての請願	社会福祉法人おき なか福祉会理事長 安富祖 久明 他4名	//	//

## 議会事務局からのお知らせ

平成25年6月定例会から市民への情報提供及び利便性の向上を図るため、インターネットによる録画中継を実施しておりますので、お知らせ致します。

なお録画中継の配信は、当該本会議終了後1週間以内に配信する予定です。



第89回 うるま市議会(臨時会)議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
選挙第1号	議長の選挙	市長	10月20日	当選人 (大屋政善)
選挙第2号	副議長の選挙		//	当選人 (徳田政信)
報 告	常任委員会委員の選任について 企画総務委員会(8人) (委員長:松田久男 副委員長:大城直 伊盛サチ子・喜屋武正伸・永玉栄靖・仲程孝・仲本辰雄・西野一男) 建設委員会(7人) (委員長:金城勝正 副委員長:下門勝 金城加奈栄・高江洲賢治・玉榮登次・徳田政信・名嘉眞宜徳) 教育福祉委員会(7人) (委員長:佐久田悟 副委員長:伊波良明 伊波洋・喜屋武力・中村正人・東浜光雄・又吉法尚) 市民経済委員会(7人) (委員長:平良榮順 副委員長:幸地政和 奥田修・荻堂盛仁・比嘉敦子・宮城一寿・宮里朝盛)	議長	//	選 任 (29人)
報 告	議会運営委員会委員の選任について (委員長:下門勝 副委員長:比嘉敦子 伊波洋・伊盛サチ子・金城勝正・佐久田悟・平良榮順・徳田政信・西野一男・東浜光雄・松田久男・宮里朝盛)	//	//	選 任 (12人)
選挙第3号	中部北環境施設組合議会議員の選挙 (幸地政和・奥田修・荻堂盛仁・平良榮順・宮城一寿)	//	//	当選人 (5人)
選挙第4号	中部衛生施設組合議会議員の選挙 (下門勝・高江洲賢治・中村正人・名嘉眞宜徳)	//	//	当選人 (4人)
選挙第5号	沖縄県後期高齢者医療広域連合組合議会議員の選挙(松田久男)	//	//	当選人 (1人)
発議第9号	うるま市議会広報編集調査特別委員会の設置について	喜屋武力 議員他5人	//	原案可決
報 告	うるま市議会広報編集調査特別委員会委員の選任について (委員長:比嘉敦子 副委員長:玉榮登次 喜屋武正伸・金城加奈栄・幸地政和・下門勝・平良榮順・東浜光雄・宮城一寿・宮里朝盛)	議長	//	選 任 (10人)
発議第10号	うるま市議会基地対策特別委員会の設置について	東浜 光雄 議員他5人	//	原案可決
報 告	うるま市議会基地対策特別委員会委員の選任について (委員長:喜屋武力 副委員長:大城直 伊波洋・伊波良明・伊盛サチ子・佐久田悟・仲程孝・仲本辰雄・西野一男・又吉法尚)	議長	//	選 任 (10人)
発議第11号	うるま市議会史編さん特別委員会の設置について	徳田 政信 議員他5人	//	原案可決
報 告	うるま市議会史編さん特別委員会委員の選任について (委員長:宮城一寿 副委員長:伊盛サチ子 奥田修・金城勝正・佐久田悟・永玉栄靖・比嘉敦子・松田久男)	議長	//	選 任 (8人)
議案第70号	監査委員の選任について(仲本辰雄)	市長	//	同 意
議案第71号	うるま市民芸術劇場設備機能強化(舞台機構)請負契約について (契約金額:153,360,000円)	//	//	原案可決
議案第72号	物品の取得について(うるま市立小学校電子黒板) (契約金額:223,155,000円)	//	//	//
議案第73号	物品の取得について(うるま市立中学校電子黒板) (契約金額:92,874,600円)	//	//	//

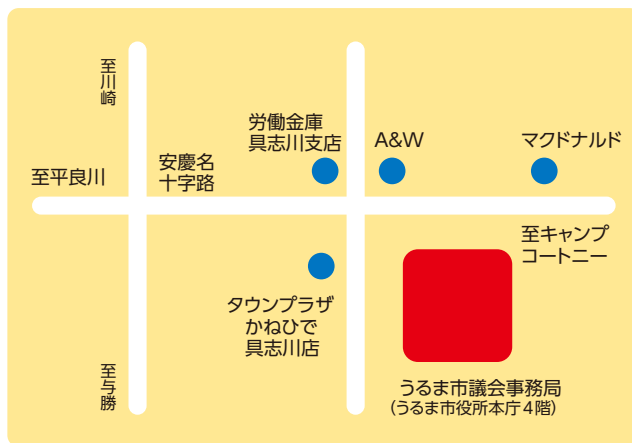


うるま市の為に頑張ります！！(うるま市議会議員:10月20日 撮影)

議会傍聴を歓迎

《 H26. 9月定例会傍聴人数 》

9月 3日	4人
10日	2人
11日	2人
16日	3人
17日	19人
19日	4人
合計	34人



議場の案内図

議会傍聴の際には、議場傍聴席入口で受付してから入場してください。本会議は午前10時より開会されます。市民の皆様は議会傍聴を歓迎いたします。

[ 12月定例議会は、12月1日(月)から開会を予定しております。 ]